

新潟県立大学大学院国際地域学研究科

令和6年度(2024年度)10月入学・令和7年度(2025年度)

一般選抜

指定される問題について、適宜文献を引用しながら小論文を作成してください。使用言語は日本語と英語のどちらでもよい。ただし、日本語の場合は5,000字程度、英語の場合は2,500語程度で記述すること。

Write a research essay about the following topic. Include a list of references at the end of your essay. You may write in English or Japanese. Please choose the language you are more comfortable in. If you choose to write in Japanese, the essay should be about 5,000 characters. If you choose to write in English, the essay should be about 2,500 words.

留意事項

- ・ 小論文は文章作成ソフトで作成し、印刷したものを出願時に提出すること（Emailでの提出は不可）。手書きの原稿は認めない。
- ・ 小論文の様式は任意。ただし、A4またはレターサイズの白色用紙使用のこと。
- ・ 氏名を小論文の全ページの右上に明記すること。
- ・ ページ番号を小論文の全ページの下中央に明記すること。
- ・ 小論文の末尾に参考文献を必ず明記すること。参考文献の字数／語数は、小論文の字数／語数に計上されない。なお、APA、シカゴスタイルなどの適切な書式で参考文献を表示すること。

Instructions for essay submission

- ・ Your essay should be typed and printed. Handwritten essays will not be accepted. The essay must be included in your application materials. Essays sent through email will not be accepted.
- ・ There are no rules for formatting. Use either A4 or letter size white paper for printing.
- ・ Include your name at the upper right corner of each page of your essay.
- ・ Include page number at the bottom center of each page of your essay.
- ・ Include a list of references at the end of your essay. The number of characters/words of references will not be counted in the total number of characters/words of the essay. You are advised to follow major citation styles, such as the Chicago and APA styles.

問題

ストックホルム国際平和研究所 (Stockholm International Peace Research Institute、SIPRI)の推計によると、2023年の世界の軍事費は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻やアジアにおける地政学的な緊張の高まりなどが原因で、前年比6.8%増の2兆4430億ドル(約378兆円)と過去最高を記録した(*1、*2)。図1は1993年から2023年にかけての世界の軍事費の総額とその地域別の推移を表している。図2は一部の国の軍事費の推移を表している。世界の軍事費が最も大きいのはアメリカで37%を占めており、2位中国(12%)の3倍以上である。増加率は、アメリカが前年比2.3%増、中国が同6.0%増である(*3)。世界の軍事費の約4分の1(24%)を占める欧州は前年比で16%増えている(*1)。日本と台湾の前年比増加率は11%である(*3)。

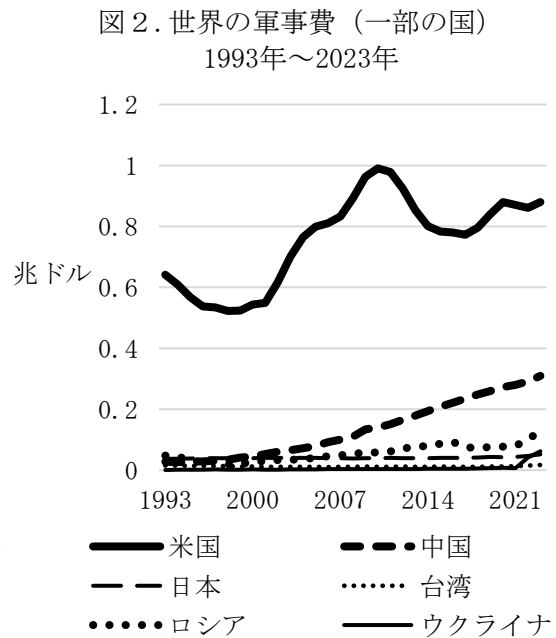
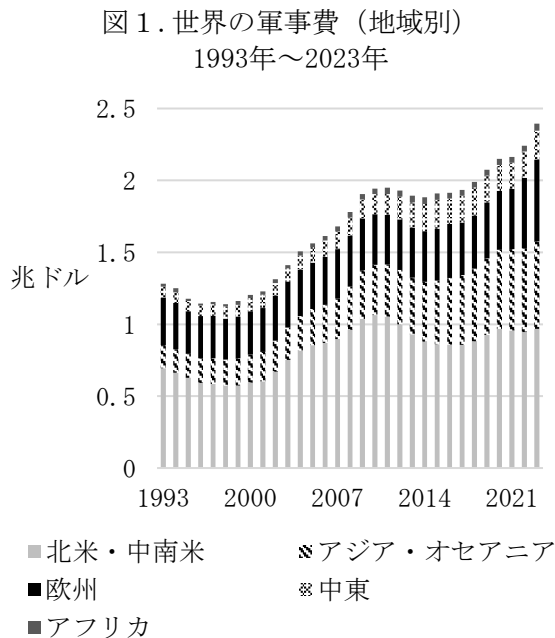


図1と2の出所：ストックホルム国際平和研究所『SIPRI Military Expenditure Database』より作成。

一方、米ワシントン大の推計によると、世界の人口は2064年の97億人をピークに減少する(*4)。「2022年の国連の人口推計(中位推計)では、22年時点で236カ国・地域のうち、126カ国・地域の合計特殊出生率(1人の女性が生涯に産む子どもの数)が、人口が安定的に推移するのに必要な人口置換水準の2.1を下回っている。その数は50年には171カ国・地域に増加する」(*5)。

少子化による人口減少は税収を減少させ、高齢化は社会保障費を増大させる要因であるが、EU加盟国はEUの財政規律の順守が義務付けられているほか、日本は深刻な

財政赤字に直面しているため、すべての項目の政府支出を増やすことは不可能である。表1は日本における国の（地方公共団体を除く）一般会計の主要経費別歳出を表しており、例えば、社会保障関係費か防衛関係費か、選択しなければならない。NATO加盟国は国内総生産（GDP）比で2%以上を防衛費に充てる共通の目標を掲げるが、「防衛費2%目標」を達成したデンマークのフレデリクセン首相は2024年2月の英フィナンシャル・タイムズのインタビューで、さらなる増額のために福祉への支出や減税を抑制すべきだと主張した（*2）。

表1. 国（一般会計）の主要経費別歳出（2022年度決算）

	決算額	構成比
社会保障関係費	43.9	33.1%
文教及び科学振興費	8.7	6.5%
国債費	23.9	18.0%
恩給関係費	0.1	0.1%
地方交付税交付金	17.5	13.2%
防衛関係費	5.5	4.2%
公共事業関係費	8.1	6.1%
経済協力費	0.9	0.7%
中小企業対策費	3.4	2.6%
エネルギー対策費	2.0	1.5%
食料安定供給関係費	1.9	1.5%
その他	16.5	12.4%
計	132.4	

単位：兆円。注：地方交付税交付金には、地方特例交付金を含む。

出所：財務省『決算の説明』より作成。

以上を踏まえ、今後、世界各国の政府支出の内訳はどのように変化していくとあなたは予想するだろうか。あなたの考えを述べなさい。その際、経済学（財政学）や政治学（国際政治学）など、どの分野の観点から論じてもよいが、必ず参考文献にもとづいて論じること。また、図表を自分で作成する場合は、図表上の字数／語数は、小論文の字数／語数に計上すること。

参考文献

- *1) Nan Tian, Diego Lopes da Silva, Xiao Liang and Lorenzo Scarazzato, “Trends in World Military Expenditure, 2023,” *SIPRI Fact Sheet*, April 2024.
- *2) 「欧州に広がる『福祉より国防』自由の代償、誰が払うか（欧州安保『大転換』の

現場①)』『日本経済新聞』2024年4月23日オンライン。

*3) “Global military spending surges amid war, rising tensions and insecurity,” *SIPRI for the media*, 22 April 2024(Stockholm).

*4) 「人類史、迫る初の人口減少 繁栄の方程式問い直す（人口と世界 成長神話の先に（1）」『日本経済新聞』2021年8月22日オンライン。

*5) 大泉啓一郎「若年人口、技術革新を左右も アジアの人口変動」『日本経済新聞』「経済教室」2023年7月26日オンライン。